

Pioneer

DJ コントローラー

DDJ-SB

serato || serato  DJ INTRO

<http://pioneerdj.com/support/>

上記のPioneer DJサポートサイトでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

<http://serato.com/>

最新版のSerato DJ IntroソフトウェアはSerato.com にアクセスしてダウンロードしてください。

取扱説明書

もくじ

本書の見かた

- このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この冊子と「ご使用前に（重要）/ クイックスタートガイド」はどちらも必ずお読みください。両方とも、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
Serato DJ Introのソフトウェアマニュアルの入手方法については、「マニュアルを入手する」(p.20) をご覧ください。
- 本書では、製品本体およびコンピューター画面に表示される画面名、メニュー名、ボタン名および端子名などを、[] で囲んで記載しています。（例：[CUE] ボタン、[Files] パネル、[MIC] 端子）
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、開発途中のものであり、最終仕様と異なる場合がありますがご了承ください。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合がありますがご了承ください。

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しい Serato DJ Intro ソフトウェアの操作については、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

- Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルは、「Serato.com」からダウンロードできます。詳細については、「Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをダウンロードする」(p.20) をご覧ください。
- 最新版の取扱説明書（本書）は、Pioneer サポートサイトからダウンロードできます。詳細については、「最新版の取扱説明書をダウンロードする」(p.20) をご覧ください。

01 はじめに

本機の特長	3
付属品を確認する	3
ソフトウェアをインストールする	3
ドライバソフトウェアおよび 設定ユーティリティーソフトウェアについて	5

02 接続および各部の名称

接続する	7
各部の名前とはたらき	7

03 操作する（基本編）

接続する	10
システムを起動する	11
システムを終了する	13

04 操作する（応用編）

パフォーマンスパッドを使う	14
エフェクトを使う	15
フィルターフェードを使う	16
マイクの音声をミックスする	17
曲を解析する	17

05 ユーティリティーモード

ユーティリティーモードを起動する	18
設定を変更する	18

06 その他

故障かな？と思ったら	19
マニュアルを入手する	20
他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する	21
保証とアフターサービス	22
商標および登録商標について	22
著作権についてのご注意	22

はじめに

本機の特長

本機は、高い操作性で多くのプロ DJ から高い評価を得ている当社 DJ 機器と Serato 社製 DJ ソフトウェア「Serato DJ Intro」を組み合わせたオールインワン DJ システムです。

本機は、大型のボディにスクラッチ演奏に最適な「BIG JOG」や、たたくおよび連打などのダイナミックなアクションで楽曲にアレンジを加えられる「パフォーマンスパッド」を搭載することで、「Serato DJ Intro」の各機能を直感的、かつ確実に操作できます。

また、サウンドカード（オーディオインターフェース）を内蔵しているので、複雑な配線や設定は不要で、すぐに DJ プレイを始められます。

「BIG JOG」

スムーズな操作性の大型 JOG を搭載しています。アナログターンテーブル感覚でスクラッチ演奏をお楽しみいただけます。

「PERFORMANCE PADS」

「Serato DJ Intro」に搭載されている「HOT CUE」、「LOOP」および「SAMPLER」などの機能や、基本機能である[CUE (I◀)] ボタンや[▶/||] ボタンをたたくおよび連打する等のダイナミックなアクションで操作できる、大型の「パフォーマンスパッド」を搭載しています。また、パッドの素材にラバーを採用しているので、長時間のプレイでも疲れず操作できます。

デザイン

大型の筐体に DJ に必要な操作インターフェースを、余裕を持って配置しています。ジョグプレートにはアルミ素材、樹脂パネル天面にはヘアライン処理を施すことで高級感のあるデザインに仕上げています。

「FILTER FADE」

クロスフェーダーとハイパスフィルターを組み合わせることで、どんな楽曲同士でも自然にミックスができる「FILTER FADE」機能を搭載しています。

「Serato DJ Intro」

DJ プレイに必要な基本機能を搭載した DJ ソフトウェア「Serato DJ Intro」をサポートしています。本機のすべてのボタンやツマミは、あらかじめソフトウェアと連動するように設定されているので、本機をコンピューターにつなぐだけで、すぐに DJ プレイを楽しめます。

また、「SLIP MODE」、iZotope 社製エフェクトおよびレコーディング機能など、さまざまな機能を搭載した「Serato DJ」にアップグレードができます。

iZotope 社は米国のオーディオ技術開発メーカーです。

サウンドカード（オーディオインターフェース）内蔵

高品質のサウンドカード（オーディオインターフェース）を内蔵しているので、複雑な配線や設定は不要で、すぐに DJ プレイを始められます。

USB バスパワー

USB バスパワーに対応しています。USB ケーブルで本機とコンピューターをつなぐだけで使うことができます。

HIGH SOUND QUALITY

パイオニア製 DJ ハードウェアで培った音質技術を継承し、クラス最高レベルの音質を実現しています。

付属品を確認する

- CD-ROM（インストールディスク）
- USB ケーブル
- 保証書（一部の地域）^①
- ご使用前に（重要）/ クイックスタートガイド

- ① 同梱されている保証書は欧州地域が対象です。
- 北米地域は「ご使用前に（重要）/ クイックスタートガイド」の英語、フランス語それぞれの最終ページに該当内容が記載されています。
 - 日本地域は「ご使用前に（重要）/ クイックスタートガイド」の日本語の最終ページに該当内容が記載されています。

ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアをインストールする前に

最新版の Serato DJ Intro ソフトウェアは Serato.com にアクセスしてダウンロードしてください。付属の CD-ROM にも、ソフトウェアのダウンロードリンクが収録されています。

- 詳細は「インストール手順（Windows）」または「インストール手順（Mac OS X）」を参照してください。
- インターネットの接続に必要なコンピューター、ネットワーク機器、その他のインターネット利用環境はお客様でご用意ください。

ドライバソフトウェアについて（Windows）

本ドライバソフトウェアは、コンピューターからの音声を出力するための専用 ASIO ドライバです。

- Mac OS X をお使いのときは、ドライバソフトウェアをインストールする必要はありません。

ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、下記の Pioneer DJ サポートサイトを参照してください。

<http://pioneerdj.com/support/>

Serato DJ Intro ソフトウェアについて

Serato DJ Intro は Serato 社製の DJ ソフトウェアです。このソフトウェアをインストールしたコンピュータと本機を接続して DJ プレイを楽しむことができます。

最低動作環境

対応 OS	CPU および必要メモリー
Mac OS X: 10.8、10.7、10.6	Intel® プロセッサ、Core™ Duo 1.6 GHz 以上 1 GB 以上の RAM
Windows: Windows 7 (SP1)、Windows Vista (SP1)	Intel® プロセッサ、Core™ 2 Duo 2.0 GHz 以上 1 GB 以上の RAM

その他

光学ドライブ	CD-ROM の読み込みが可能な光ディスクドライブ
USB ポート	コンピュータと本機を接続するために USB2.0 ポートが必要です。
ディスプレイ解像度	1 024 x 768 以上の解像度
インターネット接続	「Serato.com」のユーザーアカウントの登録やソフトウェアのダウンロードのため、インターネット接続環境が必要です。

- 最新の動作環境、互換性、および最新の OS システムを取得するには、下記の Pioneer DJ サポートサイトの「DDJ-SB」の「ソフトウェア対応情報」を参照してください。
<http://pioneerdj.com/support/>
- OS は最新のバージョン、サービスパックをお使いください。
- 記載の動作環境を満たしているすべてのコンピュータにおける動作を保証するものではありません。
- コンピュータの省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型コンピュータをお使いのときは、AC 電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングで Serato DJ Intro をお使いください。
- インターネットをお使いになるときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。

インストール手順について

お客様がお使いになるコンピュータのオペレーティングシステム (OS) により、インストールの手順が異なります。

Windows のとき

ドライバソフトウェアのインストールに続いて、Serato DJ Intro ソフトウェアのインストールを行ってください。

Mac OS X のとき

Serato DJ Intro ソフトウェアのインストールのみ行ってください。

インストール手順 (Windows)

インストールが完了するまでは、本機とコンピュータを接続しないでください。

- コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログイン (またはログオン) してからインストールしてください。
- コンピュータ上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

1 CD-ROM をコンピュータの光学ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。

- CD-ROM を挿入しても CD-ROM のメニューが表示されないときは、[スタート]メニューの[コンピューター (またはマイコンピューター)]から光学ドライブを開き [CD_menu.exe] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[ドライバソフトウェア (Pioneer_DDJ_SB_Driver_x.xxx.exe) をインストールする] を選んで [開始] をクリックする

- CD-ROM のメニューを終了させるときは、[終了] をクリックしてください。

3 画面の指示に従ってインストールする

インストールの途中で [Windows セキュリティ] 画面が表示されることがありますが、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてインストールを続行してください。

インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されます。ドライバソフトウェアのインストールに続いて、Serato DJ Intro ソフトウェアのインストールを行ってください。

4 CD-ROM のメニューの [Serato DJ Intro をダウンロードする] を選んで [開始] をクリックする

5 「接続にはインターネット環境が必要です。インターネットに接続しますか？」と表示されるので、[はい] をクリックする

ウェブブラウザが起動し、Pioneer DJ サポートサイトが表示されます。

6 Pioneer DJ サポートサイトで [DDJ-SB] の [ソフトウェア対応情報] をクリックする

7 Serato DJ Intro のダウンロードページへのリンクをクリックする

Serato DJ Intro のダウンロードページが表示されます。

8 「Serato.com」のユーザーアカウントでログインする

- すでに「Serato.com」のユーザーアカウントを登録されているお客様は、手順 10 にお進みください。
- ユーザーアカウントの登録が完了していないお客様は、以下の操作をしてユーザーアカウントの登録を行ってください。
 - 画面の指示に従って、E-mail アドレス、設定したいパスワードを入力し、お住まいの地域を選択してください。
 - [E-mail me Serato newsletters] にチェックを入れると、Serato 社からのニュースレターが送信され、Serato 社製品の最新情報入手できます。
 - ユーザーアカウント登録が完了すると、入力した E-mail アドレスに E-mail が送信されますので、「Serato.com」から送信された E-mail の内容を確認してください。
- ユーザー登録の際にご指定いただきましたお客様の E-mail アドレスとパスワードは、お忘れにならないように十分ご注意ください。ソフトウェアのアップデートをするときに必要になります。
- 新規ユーザーアカウントの登録時に入力する個人情報は、Serato 社ウェブサイトの個人情報保護方針に基づき、収集、処理、使用されます。

9 「Serato.com」から送信された E-mail に記載されているリンク先をクリックする

Serato DJ Intro のダウンロードページに進みます。手順 11 にお進みください。

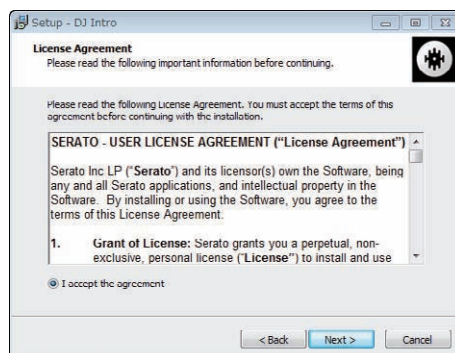
10 ログインする

登録した E-mail アドレスおよびパスワードを入力し、「Serato.com」にログインします。

11 ダウンロードページから、Serato DJ Intro ソフトウェアをダウンロードする

ダウンロードしたファイルを解凍し、解凍したファイルをダブルクリックするとインストーラーが起動します。

12 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は [I accept the agreement] を選択し、[Next] をクリックする

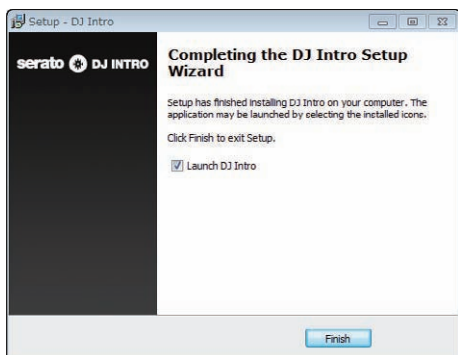


- 使用許諾契約の内容に同意しないときは [Cancel] をクリックしてインストールを中止してください。

インストールが始まります。

インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

13 [Finish] をクリックして Serato DJ Intro インストーラーを終了させる



インストール手順 (Mac OS X)

インストールが完了するまでは、本機とコンピューターを接続しないでください。

- コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

1 CD-ROM をコンピューターの光学ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。

- CD-ROM を挿入しても画面上に CD-ROM のメニューが表示されないときは、Finder で光学ドライブを開いてから [CD_menu.app] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM のメニューの [Serato DJ Intro をダウンロードする] を選んで [開始] をクリックする

3 「接続にはインターネット環境が必要です。インターネットに接続しますか？」と表示されるので、[はい] をクリックする

ウェブブラウザが起動し、Pioneer DJ サポートサイトが表示されます。

4 Pioneer DJ サポートサイトで [DDJ-SB] の [ソフトウェア対応情報] をクリックする

5 Serato DJ Intro のダウンロードページへのリンクをクリックする

Serato DJ Intro のダウンロードページが表示されます。

6 「Serato.com」のユーザーアカウントでログインする

- すでに「Serato.com」のユーザーアカウントを登録されているお客様は、手順 8 にお進みください。
- ユーザーアカウントの登録が完了していないお客様は、以下の操作をしてユーザーアカウントの登録を行ってください。
 - 画面の指示に従って、E-mail アドレス、設定したいパスワードを入力し、お住まいの地域を選択してください。
 - [E-mail me Serato newsletters] にチェックを入れると、Serato 社からのニュースレターが送信され、Serato 社製品の最新情報を入手できます。
 - ユーザーアカウント登録が完了すると、入力した E-mail アドレスに E-mail が送信されますので、「Serato.com」から送信された E-mail の内容を確認してください。
- ユーザー登録の際にご指定いただきましたお客様の E-mail アドレスとパスワードは、お忘れにならないように十分ご注意ください。ソフトウェアのアップデートをするときに必要になります。
- 新規ユーザーアカウントの登録時に入力する個人情報は、Serato 社ウェブサイトの個人情報保護方針に基づき、収集、処理、使用されます。

7 「Serato.com」から送信された E-mail に記載されているリンク先をクリックする

Serato DJ Intro のダウンロードページに進みます。手順 9 にお進みください。

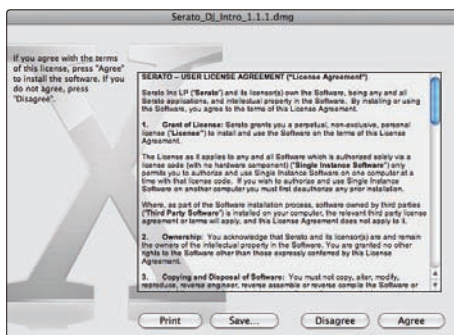
8 ログインする

登録した E-mail アドレスおよびパスワードを入力し、「Serato.com」にログインします。

9 ダウンロードページから、Serato DJ Intro ソフトウェアをダウンロードする

ダウンロードしたファイルを解凍し、解凍したファイルをダブルクリックするとインストーラーが起動します。

10 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は [Agree] をクリックする



- 使用許諾契約の内容に同意しないときは [Disagree] をクリックしてインストールを中止してください。

11 下記の画面が表示されたら、[Serato DJ Intro] アイコンを [Applications] フォルダーアイコンにドラッグアンドドロップする



ドライバソフトウェアおよび設定ユーティリティソフトウェアについて

本機は ASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。

設定ユーティリティソフトウェアを使う

この機能は OS に Windows をお使いのお客様のみご利用いただけます。

❖ 設定ユーティリティソフトウェアを起動する

Windows の [スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [Pioneer] > [DDJ-SB] > [DDJ-SB ASIO 設定ユーティリティ] をクリックする

❖ バッファサイズを調整する

Serato DJ Intro ソフトウェアのバッファサイズの設定と同じように、[カーネルバッファ数] の設定値は値を小さくすると音声データの伝送遅延 (レイテンシー) が小さくなり、大きくすると音声データの脱落 (音とぎれ) が発生しにくくなります。

バッファサイズは、Serato DJ Intro ソフトウェアの [SETUP] メニュー内の [USB BUFFER SIZE (LATENCY)] での設定値が優先されます (デフォルト設定は 512 samples/10 ms になっています)。

- DJソフトウェア側の設定方法の詳細については、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- [バッファサイズ] または [カーネルバッファ数] の数値を大きくすると、音声データの脱落 (音とぎれ) などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) によるタイムラグが増大します。

❖ デフォルト設定で音切れが発生している場合

1 [DDJ_SB ASIO 設定ユーティリティ] を起動して [カーネルバッファ数] を [4] に変更する

2 Serato DJ Intro ソフトウェアの [USB BUFFER SIZE (LATENCY)] を音切れが発生しない最小のバッファサイズに設定する

❖ デフォルト設定で音切れが発生していない場合

1 Serato DJ Intro ソフトウェアの [USB BUFFER SIZE (LATENCY)] を音切れが発生しない最小のバッファサイズに設定する

2 [DDJ_SB ASIO 設定ユーティリティ] を起動して [カーネルバッファ数] を [2] に変更し、音切れが発生していないかを確認する

3 音切れが発生しない場合は Serato DJ Intro ソフトウェアの [USB BUFFER SIZE (LATENCY)] を音切れが発生しない最小のバッファサイズに設定し、音切れが発生した場合は [DDJ_SB ASIO 設定ユーティリティ] の [カーネルバッファ数] を [3] に変更します

ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

Windows の [スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [Pioneer] > [DDJ_SB] > [DDJ_SB バージョン表示ユーティリティ] をクリックする

- この画面では本機のファームウェアのバージョンも確認できます。
- 本機がコンピューターに接続されていないとき、または本機とコンピューターが正常に通信できていないときは、ファームウェアのバージョンは表示されません。

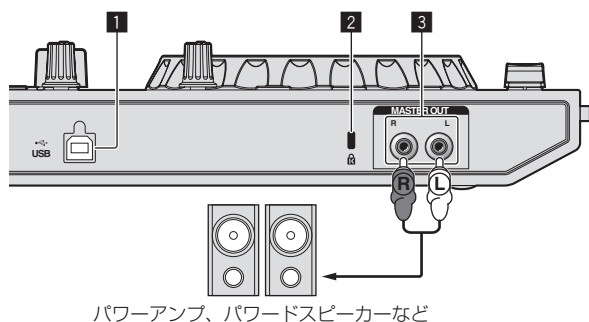
接続および各部の名称

接続する

機器の接続や変更は、必ず USB ケーブルを抜いてからしてください。USB ケーブルは必ず本製品に付属のものをお使いください。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。本機は USB バスパワーで電源が供給されます。USB ケーブルで本機とコンピュータを接続するだけで使用できます。

- 本機を接続するコンピュータは、AC 電源に接続してください。
- USB ハブは使えません。
- 以下のような場合は、電源が不足して本機が USB バスパワーで動作しないことがあります。
 - コンピューター本体の USB ポートの電源供給能力が不足している。
 - コンピューターに他の USB 機器を接続している。
 - インピーダンスが 32 Ω より小さいヘッドホンに接続している。
 - ステレオフォンジャックとステレオミニフォンジャックの両方にヘッドホンと同時に接続している。
 - [HEADPHONES] 端子にモノラルジャックを接続している。

本体背面部



1 USB 端子

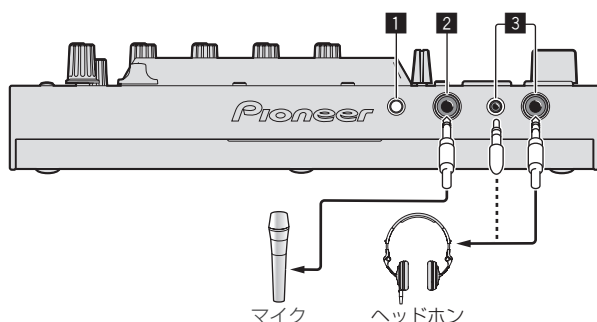
- コンピューターと接続します。
- 本機とコンピュータは付属の USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ハブは使えません。

2 ケンジントロック装着用穴

3 MASTER OUT 端子

- パワーアンプやパワードスピーカーなどを接続します。
- RCA ピンジャック型のアンバランス出力に対応しています。

本体側面部



1 MIC LEVEL ツマミ

- [MIC] 端子に入力される音声レベルを調整します。

2 MIC 端子

- マイクを接続します。

3 HEADPHONES 端子

- ヘッドホンに接続します。
- ステレオフォンプラグ (Ø 6.3 mm) とステレオミニフォンプラグ (Ø 3.5 mm) に対応しています。
- ステレオフォンジャックとミニフォンジャックの 2 つの入力端子がありますが、同時に使用しないでください。同時に使用すると片方の端子を抜き差しする際に、もう片方の音量が急に増減する場合があります。

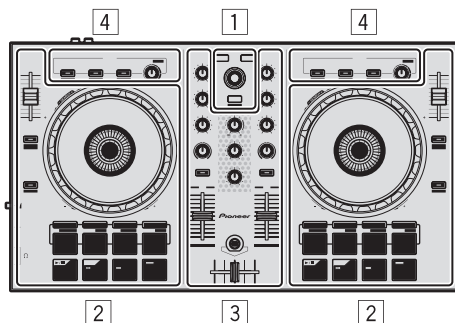
各部の名前とはたらき

ここで紹介する各部のはたらきは、Serato DJ Intro の機能を基本としています。

Serato DJ にアップグレードした際に使える機能の説明文には、**Serato DJ** を添えています。

機能の詳細については、下記の Pioneer DJ サポートサイトでご確認ください。

<http://pioneerdj.com/support/>



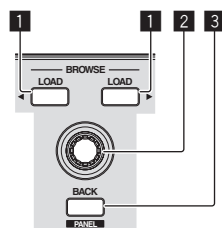
1 ブラウザー部

2 デッキ部

3 ミキサー部

4 エフェクト部

ブラウザー部



1 LOAD ボタン

- 押す：選んでいるトラックをそれぞれのデッキにロードします。

- [LOAD] ボタンを 2 回押すと、反対側の選択されているデッキにロードされているトラックを、[LOAD] ボタンが押されたデッキにロードします。トラックが再生中のときは同じ位置から再生されます。(インスタントダブル)

2 ローターセレクトター

回す：
ライブラリや crates パネルのカーソルが、上下に移動します。

押す：
カーソルの位置が、crates パネル内にあるときは、カーソルがライブラリへ移動します。
ロータリーセレクトターを押すたびに、crates パネルとライブラリの間でカーソルが移動します。
[Files] パネル内のカーソルが下位階層へ移動します。

3 BACK (PANEL) ボタン

押す：
カーソル位置が、crates パネル内にあるときは、subcrates を開くか、または閉じます。
カーソル位置がライブラリ内にあるときは、crates パネルへ移動します。
[Files] パネル内のカーソルが上位階層へ移動します。

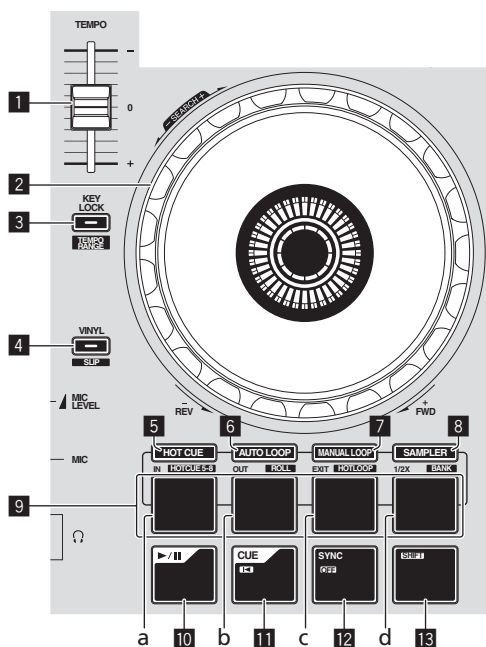
[SHIFT] + 押す：

Serato DJ

ボタンを押すごとに以下の順序でパネル表示を切り換えます。
パネル表示オフ → [REC] パネル → [FX] パネル → [SP-6] パネル → パネル表示オフに戻る

デッキ部

2つのデッキをコントロールします。コントローラー左側にデッキ 1、コントローラー右側にデッキ 2 を操作するツマミやボタンがあります。



1 TEMPO スライダー

トラックの再生速度を調整します。

2 ジョグダイヤル

天面を回す：
VINYL モードがオンのとき、スクラッチ操作ができます。
VINYL モードがオフのとき、ピッチベンド操作（再生速度の調整）ができます。

外周部を回す：
ピッチベンド操作（再生速度の調整）ができます。

[SHIFT] + 天面を回す：

再生中に [SHIFT] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回すと、スクラッチよりも高速に再生位置を移動できます。

3 KEY LOCK (TEMPO RANGE) ボタン

押す：
キーロック機能をオン / オフします。
キーロック機能がオンのとき、[TEMPO] スライダーで再生速度を変えても音程は変わりません。
• 音声をデジタル加工するため音質が悪くなります。

[SHIFT] + 押す：

押すたびに [TEMPO] スライダーの変換範囲が切り換わります。

→ [±8%] → [±16%] → [±50%]

4 VINYL (SLIP) ボタン

VINYL モードをオン / オフします。

[SHIFT] + 押す：

Serato DJ

スリップモードをオン / オフします。

5 HOT CUE モードボタン

押す：
ホットキューモードに設定します。

[SHIFT] + 押す：

Serato DJ

ホットキュー 5-8 モードに設定します。

6 AUTO LOOP モードボタン

押す：
オートループモードに設定します。

[SHIFT] + 押す：

Serato DJ

ロールモードに設定します。

7 MANUAL LOOP モードボタン

押す：
マニュアルループモードに設定します。

[SHIFT] + 押す：

Serato DJ

ホットループモードに設定します。

8 SAMPLER モードボタン

押す：
サンプラーモードに設定します。

[SHIFT] + 押す：

Serato DJ

バンクモードに設定します。

9 パフォーマンスパッド

- a パフォーマンスパッド 1
- b パフォーマンスパッド 2
- c パフォーマンスパッド 3
- d パフォーマンスパッド 4

パッドを使って、さまざまなパフォーマンスを行うことができます。

➡ 「パフォーマンスパッドを使う」(p.14)

10 ▶/II ボタン

押す：
トラックを再生 / 一時停止します。

11 CUE (I◀) ボタン

押す：
テンポラリーキューポイントを設定、再生、呼び出しします。

- 一時停止中に [CUE (I◀)] ボタンを押すとテンポラリーキューポイントを設定します。
- 再生中に [CUE (I◀)] ボタンを押すとテンポラリーキューポイントに戻り、一時停止します。（バックキュー）

- テンポラリーキューポイントに戻ったあとに[CUE (I◀)]ボタンを押し続けると、ボタンを押し続けている間、再生を続けます。(キューサンプラー)
- キューサンプラー中に[▶/III]ボタンを押すとそのまま続けて再生します。

[SHIFT] + 押す：

ライブラリの中の1つ前のトラックをロードします。(プレビーストラック)

- 現在の再生位置がトラックの先頭でないときは、トラックの先頭に戻ります。

12 SYNC (OFF) ボタン

押す：

となりのデッキのトラックのテンポ(ピッチ)に自動で合わせることが出来ます。

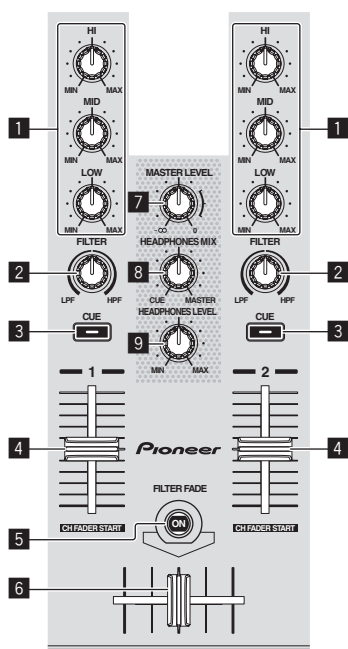
[SHIFT] + 押す：

SYNC を解除します。

13 SHIFT ボタン

[SHIFT] ボタンを押しながら他のボタンを押すと、別の機能呼び出せます。

ミキサー部



1 EQ (HI, MID, LOW) ツマミ

各チャンネルに対してそれぞれの周波数域を増減させることができます。

2 FILTER ツマミ

各チャンネルに対して、フィルターエフェクトをかけます。ツマミがセンター位置のとき原音が出来ます。

左回し：ローパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に下がります。

右回し：ハイパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に上がります。

3 ヘッドホン CUE ボタン

押す：

ヘッドホン[CUE]ボタンが押してあるチャンネルの音声ヘッドホンから出力されます。

- ヘッドホン[CUE]ボタンを再び押すと、モニターが解除されます。

4 チャンネルフェーダー

動かす：

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

[SHIFT] + 動かす：

Serato DJ

チャンネルフェーダースタート機能を使います。

5 FILTER FADE ボタン

フィルターフェード機能をオン/オフします。

➡「フィルターフェードを使う」(p.16)

6 クロスフェーダー

左右デッキの音声出力を切り換えます。

7 MASTER LEVEL ツマミ

マスター出力の音声レベルを調整します。

8 HEADPHONES MIX ツマミ

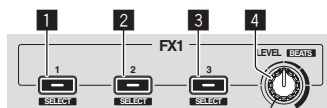
ヘッドホン[CUE]ボタンが押してあるチャンネルの音声と、マスターチャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

9 HEADPHONES LEVEL ツマミ

ヘッドホンから出力される音声レベルを調整します。

エフェクト部

2つのエフェクトユニット(FX1 および FX2) をコントロールします。コントローラー左側に FX1、コントローラー右側に FX2 を操作するツマミやボタンがあります。



1 エフェクト 1 ボタン

エフェクトをオン/オフします。

[SHIFT] + 押す：

エフェクトの種類を切り換えます。

2 エフェクト 2 ボタン

エフェクトをオン/オフします。

[SHIFT] + 押す：

エフェクトの種類を切り換えます。

3 エフェクト 3 ボタン

エフェクトをオン/オフします。

[SHIFT] + 押す：

エフェクトの種類を切り換えます。

4 エフェクトレベルツマミ

エフェクトのパラメーターを調整します。

➡「エフェクトを使う」(p.15)

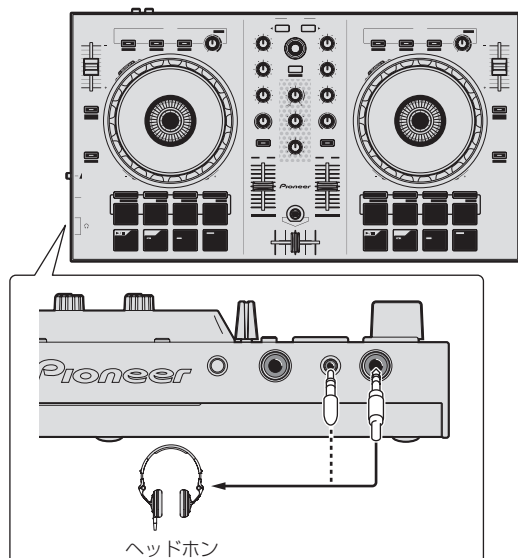
[SHIFT] + 押す：

エフェクト時間を調整します。

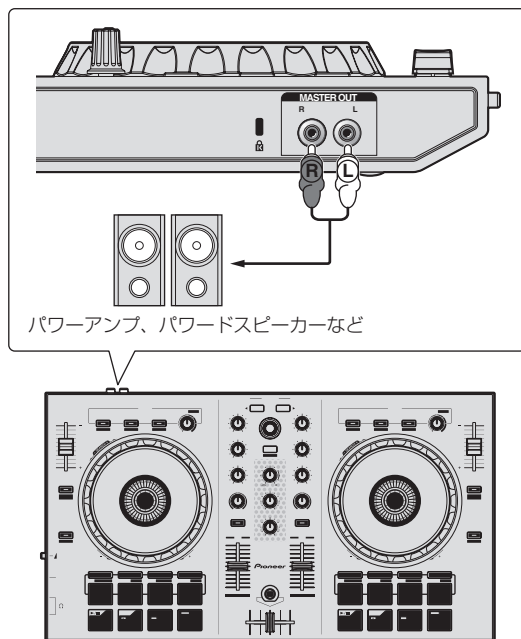
操作する（基本編）

接続する

1 どちらかの [HEADPHONES] 端子にヘッドホンを接続する



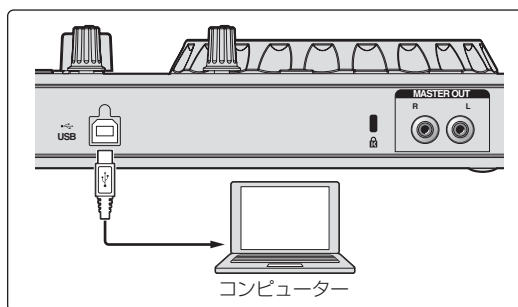
2 [MASTER OUT] 端子にパワーアンプやパワードスピーカーなどの機器を接続する



- 入出力端子の接続についての詳細は、「接続する」(p.7) を参照してください。

3 コンピューターの電源をオンにする

4 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する



- Windows をお使いのお客様
本機をはじめてコンピューターに接続したとき、またはコンピューターの USB 端子をつなぎ変えたときに [デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。] メッセージが表示されることがあります。 [デバイスを使用する準備ができました。] メッセージが表示されるまで、そのままお待ちください。

5 出力端子に接続された機器（パワーアンプ、パワードスピーカーなど）の電源を入れる

- 入力端子にマイクを接続している場合は、マイクの電源も入れてください。

システムを起動する

Serato DJ Intro を起動する

Windows のとき

Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [Serato] > [DJ Intro] > [Serato DJ Intro] のアイコンをクリックする

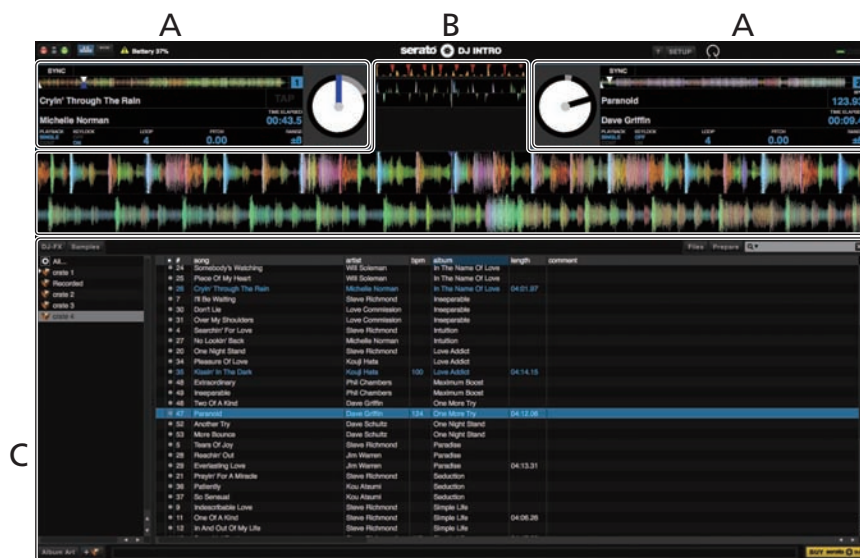
Mac OS X のとき

Finder で [アプリケーション] フォルダを開いてから、[Serato DJ Intro] のアイコンをクリックする

Serato DJ Intro ソフトウェア起動直後のコンピューター画面



Serato DJ Intro ソフトウェアに楽曲をロードしたときのコンピューター画面



A デッキ部

ロードされたトラックの曲名、アーティスト名、BPM などのトラック情報や全体波形などを表示します。

B ウェーブフォームディスプレイ

ロードされたトラックの波形を表示します。

C ブラウザー部

ライブラリの中の楽曲や複数の楽曲をまとめて保存した crate を表示します。

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しい Serato DJ Intro ソフトウェアの操作については、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

楽曲をインポートする

以下では、楽曲をインポートする代表的な操作方法について説明します。

- Serato DJ Intro ソフトウェアでは、さまざまなインポート方法があります。詳細については、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- すでに Serato 社の DJ ソフトウェア (Scratch Live、ITCH、Serato DJ) をお使いのお客様で、楽曲ライブラリを作成されている場合は、以前作成した楽曲ライブラリをそのまま使うことができます。

1 Serato DJ Intro ソフトウェア画面の [Files] キーをクリックして [Files] パネルを開く

お使いのコンピューターおよびコンピューターに接続されている周辺機器の中身が [Files] パネルに表示されます。

2 [Files] パネル内でライブラリに加えたい楽曲が含まれているフォルダーをクリックして選択する

3 Serato DJ Intro ソフトウェアの画面上で、選択したフォルダーを crates パネルにドラッグ & ドロップする

crate が作成され、ライブラリに楽曲が追加されます。

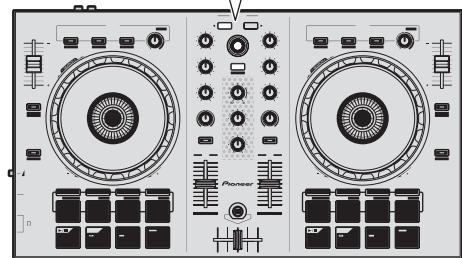
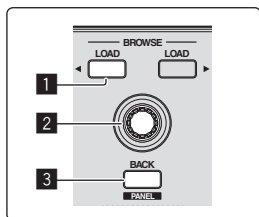


a [Files] パネル
b crates パネル

トラックをロードして再生する

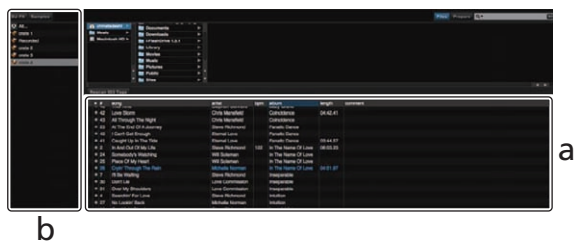
以下では、デッキ [1] にトラックをロードする方法を例にして説明します。

2 ロータリーセクターを押して、コンピューター画面のライブラリにカーソルを移動させ、ロータリーセクターを回して、トラックを選ぶ



- 1 LOAD ボタン
- 2 ロータリーセクター
- 3 BACK (PANEL) ボタン

1 本機の [BACK (PANEL)] ボタンを押して、コンピューター画面の crates パネルにカーソルを移動させ、ロータリーセクターを回して、crate などを選ぶ



a ライブラリ
b crates パネル

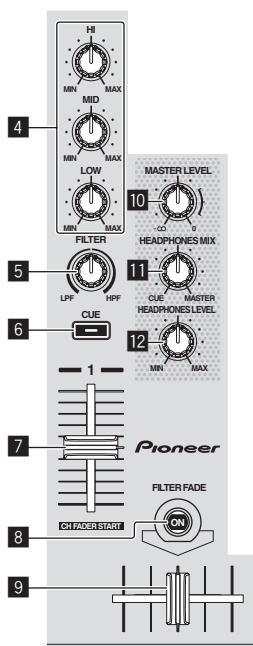
3 [LOAD] ボタンを押して、選んでいるトラックをデッキにロードする

トラックを再生して音声を出力する

以下では、チャンネル 1 の音声を出力する方法を例にして説明します。

- [MASTER OUT] 端子に接続している機器（パワーアンプ、パワードスピーカーなど）のボリュームを適切に設定してください。ボリュームを上げすぎると大音量で音声出力されますのでご注意ください。

ミキサー部



4 EQ (HI、MID、LOW) ツマミ

5 FILTER ツマミ

6 ヘッドホン CUE ボタン

7 チャンネルフェーダー

8 FILTER FADE ボタン

9 クロスフェーダー

10 MASTER LEVEL ツマミ

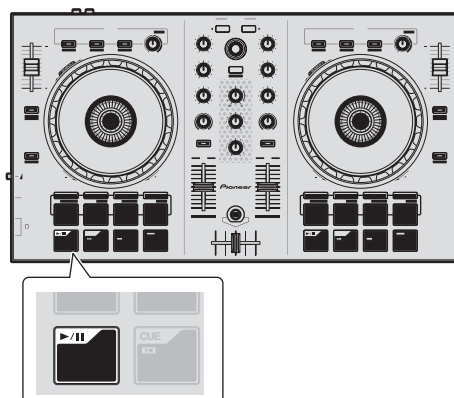
11 HEADPHONES MIX ツマミ

12 HEADPHONES LEVEL ツマミ

1 以下のように、ツマミなどの位置を設定してください

ツマミなどの名称	位置
EQ (HI、MID、LOW) ツマミ	中心位置
FILTER ツマミ	中心位置
チャンネルフェーダー	手前側の位置
MASTER LEVEL ツマミ	左に回しきった位置

2 [▶/II] ボタンを押してトラックを再生する



3 チャンネルフェーダーを奥側に動かす

4 [MASTER LEVEL] ツマミを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

[MASTER OUT] 端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

ヘッドホンで音声をモニターする

以下のように、ツマミなどの位置を設定してください

ツマミなどの名称	位置
HEADPHONES MIX ツマミ	中心位置
HEADPHONES LEVEL ツマミ	左に回しきった位置

1 チャンネル 1 のヘッドホン [CUE] ボタンを押す

2 [HEADPHONES LEVEL] ツマミを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

メモ

本機と Serato DJ Intro ソフトウェアは、個性的な DJ プレイを可能にする多くの機能が搭載されています。それぞれの機能について、詳しくは取扱説明書および Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

- 本機の取扱説明書は Pioneer DJ サポートサイトからダウンロードできます。詳細については、「最新版の取扱説明書をダウンロードする」(p.20) をご覧ください。
- Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルは、Serato.com からダウンロードできます。詳細については、「Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをダウンロードする」(p.20) をご覧ください。

システムを終了する

1 Serato DJ Intro を終了する

ソフトウェアを閉じると、終了の確認のための画面がコンピューター上に表示されます。[Yes] をクリックして終了します。

2 USB ケーブルをコンピューターから抜く

操作する（応用編）

これ以降の操作説明の記載では、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルで説明されていない、本機と Serato DJ Intro を組み合わせたときの特有な機能について説明しています。

パフォーマンスパッドを使う

DDJ-SB のパフォーマンスパッドでは、4 つのモードがあります。

パッドモード

「ホットキュー」、「オートループ」、「マニュアルループ」および「サンプラー」をコントロールします。それぞれの機能はパッドモードボタン（[HOT CUE] モードボタン、[AUTO LOOP] モードボタン、[MANUAL LOOP] モードボタン、[SAMPLER] モードボタン）で切り換えます。

ホットキューを使う

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。

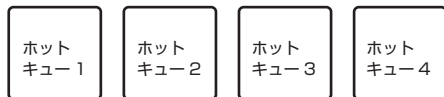
- ホットキューポイントは、1トラックにつき4か所まで設定および保存できます。

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

[HOT CUE] モードボタンが点灯し、ホットキューモードに切り換わります。

2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

各ホットキューポイントは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

オートループを使う

トラックの BPM を基準に 1 拍、2 拍、4 拍および 8 拍のループを設定します。

1 [AUTO LOOP] モードボタンを押す

[AUTO LOOP] モードボタンが点灯し、オートループモードに切り換わります。

2 再生中にパフォーマンスパッドを押して、オートループをオンにする

オートループの拍は、以下のように各パッドに割り当てられています。



3 パフォーマンスパッドをもう一度押して、オートループをオフにする

マニュアルループを使う

マニュアルループを設定します。

1 [MANUAL LOOP] モードボタンを押す

[MANUAL LOOP] モードボタンが点灯し、マニュアルループモードに切り換わります。

2 再生中にパフォーマンスパッド 1 を押して、ループインポイントを設定する



3 再生中にパフォーマンスパッド 2 を押して、ループアウトポイントを設定する

ループインポイントからループアウトポイントの間で、マニュアルループを開始します。

4 マニュアルループ再生中にパフォーマンスパッド 3 を押して、マニュアルループを解除する

- マニュアルループ再生を解除したあと、再生中にパフォーマンスパッド 3 を押すと、前回設定したループインポイントに戻り、マニュアルループ再生を再開します。

❖ マニュアルループの長さを変える

- マニュアルループ再生中にパフォーマンスパッド 4 を押すと、パッドを押すたびにマニュアルループ再生の長さが半分に分割されます。
- マニュアルループ再生中に [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッド 4 を押すと、パッドを押すたびにマニュアルループ再生の長さが倍に延長されます。

❖ マニュアルループの長さを微調整する

- マニュアルループ再生中にパフォーマンスパッド 1 を押すと、ジョグダイヤルを使ってループインポイントを微調整できます。
 - もう一度パフォーマンスパッド 1 を押すと、微調整モードを終了し、マニュアルループの再生に戻ります。
- マニュアルループ再生中にパフォーマンスパッド 2 を押すと、ジョグダイヤルを使ってループアウトポイントを微調整できます。
 - もう一度パフォーマンスパッド 2 を押すと、微調整モードを終了し、マニュアルループの再生に戻ります。

サンプラーを使う

サンプラーのサンプラーズロットにロードされたトラックを、パフォーマンスパッドで再生できます。

1 コンピューター画面上の [Samples] をクリックして、コンピューター画面上に [Samples] パネルを開く

2 [SAMPLER] モードボタンを押す

[SAMPLER] モードボタンが点灯し、サンプラーモードに切り換わります。

3 コンピュータ画面のマウス操作でトラックをドラッグ & ドロップし、[Samples] パネルの各スロットに曲をロードする

サンプラーの設定とロードした楽曲が保存されます。

4 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。



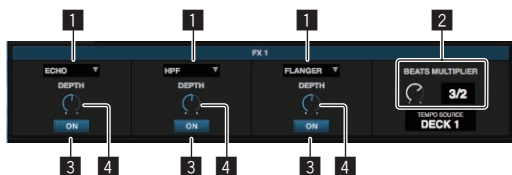
- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、再生中のスロットの音声を停止します。

エフェクトを使う

Serato DJ Intro には FX1 と FX2 の 2 つのエフェクトユニットがあります。それぞれのユニットで、エフェクトユニットあたり 3 つのエフェクトが選択できます。エフェクトユニット FX1 はデッキ 1 に、エフェクトユニット FX2 はデッキ 2 に適用されます。

Serato DJ Intro のエフェクトユニットの画面表示

コンピューター画面の [DJ-FX] をクリックすると、コンピューター画面上に [DJ-FX] パネルが表示されます。



- 1 エフェクトの種類が表示されます。
- 2 エフェクト時間が表示されます。
- 3 エフェクトのオン / オフが表示されます。
- 4 エフェクトのレベルが表示されます。

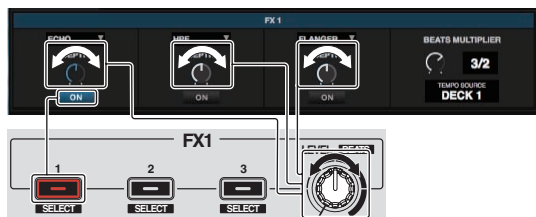
本機のエフェクトレベルツマミは、Serato DJ Intro の 3 つのエフェクトのレベルを同時にコントロールします。本機を使って最大 3 つのエフェクトを、同時にコントロールできます。



エフェクトを操作する

ここでは、エフェクトユニット FX1 の 1 番目のエフェクトを操作する場合を例に説明します。

なお、本書で記載の手順は一例であり、これ以外の手順でも操作できます。



- 1 [SHIFT] ボタンを押しながらエフェクト 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトの種類を選ぶ

Serato DJ Intro の画面上に、エフェクトの種類が表示されます。

- 2 エフェクトレベルツマミを操作して、エフェクトレベルを調整する

Serato DJ Intro の画面上の、3 つのエフェクトレベルツマミの位置が同時に動きます。

- エフェクトレベルツマミの位置は、個別に動かせません。

- 3 [SHIFT] ボタンを押しながら、エフェクトレベルツマミを操作してエフェクト時間を調整する

- エフェクトレベルの調整とエフェクト時間の調整を交互に操作する場合は、Serato DJ Intro の画面上のエフェクトレベルツマミの位置と本機のエフェクトレベルツマミの位置を、一致させる必要があります。

詳しくは、16 ページの「エフェクトレベルの調整とエフェクト時間の調整を交互に操作する」をご覧ください。

- 4 エフェクト 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトをオンにする

Serato DJ Intro の画面上の 1 番目のエフェクトの [ON] ボタンが、ハイライトで表示されます。

- エフェクトをオンにしたあとで、手順 2 や手順 3 を操作し、エフェクトレベルやエフェクト時間を調整することもできます。

- 5 エフェクト 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトをオフする

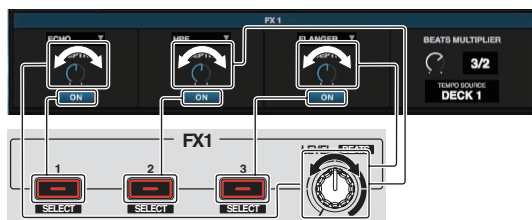
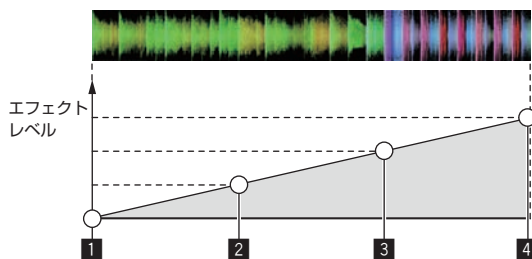
3 つのエフェクトを同時に操作する

以下に示すように、同時に 3 つのエフェクトを操作する場合を例に説明します。

なお、本書で記載の手順は一例であり、これ以外の手順でも操作できます。

操作例

- 1 エフェクトレベルを 0 % (ツマミを左に回しきった状態) に設定する
1 番目のエフェクトをオンにする
- 2 エフェクトレベルを少しずつ上げながら、2 番目のエフェクトをオンにする
- 3 さらにエフェクトレベルを上げながら、3 番目のエフェクトをオンにする
- 4 エフェクトレベルを 100 % (ツマミを右に回しきった状態) まで上げる
最後に 3 つのエフェクトをすべてオフにする



- 1 エフェクトの種類を選ぶ

[SHIFT] ボタンを押しながら、エフェクト 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトの種類を選びます。

[SHIFT] ボタンを押しながら、エフェクト 2 ボタンを押して、2 番目のエフェクトの種類を選びます。

[SHIFT] ボタンを押しながら、エフェクト 3 ボタンを押して、3 番目のエフェクトの種類を選びます。

- 2 エフェクトレベルツマミを操作して、エフェクトレベルを調整する

本操作例では、エフェクトレベルツマミを左に回しきった状態 (0 %) に設定します。

- 3 エフェクト 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトをオンにする

1 番目のエフェクトが、オンの状態になります。

- 4 エフェクトレベルツマミを操作して、エフェクトレベルを調整する

エフェクトレベルツマミを右に少しずつ回しながら、エフェクトレベルを上げていきます。

この操作では、1 番目のエフェクトだけ有効です。

5 エフェクト2 ボタンを押して、2 番目のエフェクトをオンにする

1 番目のエフェクトと 2 番目のエフェクトが、同時にオンの状態になります。

6 エフェクトレベルツマミを操作して、エフェクトレベルを調整する

エフェクトレベルツマミを、さらに右に少しずつ回しながら、エフェクトレベルを上げていきます。

この操作では、1 番目のエフェクトと 2 番目のエフェクトの両方が有効です。

7 エフェクト3 ボタンを押して、3 番目のエフェクトをオンにする

3 つのエフェクトが、同時にオン状態になります。

8 エフェクトレベルツマミを操作して、エフェクトレベルを調整する

エフェクトレベルツマミを、さらに右に少しずつ回しながら、エフェクトレベルを上げていきます。

この操作では、3 つのエフェクトすべてが有効です。

9 エフェクトをオフにする

エフェクト 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトをオフにします。

エフェクト 2 ボタンを押して、2 番目のエフェクトをオフにします。

エフェクト 3 ボタンを押して、3 番目のエフェクトをオフにします。

- 複数のエフェクトをオンにするときは、それぞれのエフェクトレベルは同じになります。

個別に調整することはできません。

エフェクトレベルの調整とエフェクト時間の調整を交互に操作する

以下に示すように、エフェクトレベルの調整とエフェクト時間の調整を交互に操作する場合を例に説明します。

なお、本書で記載の手順は一例であり、これ以外の手順でも操作できます。

操作例

- エフェクトレベルを 0 % (ツマミを左に回しきった状態) から 100 % (ツマミを右に回しきった状態) へ調整する
- エフェクト時間を [1/1] から [1/2] に調整する
- エフェクトレベルを 100 % (ツマミを右に回しきった状態) から 50 % (ツマミをセンター位置に設定した状態) へ調整する

1 エフェクトレベルツマミを操作して、エフェクトレベルを調整する

エフェクトレベルを 0 % (ツマミを左に回しきった状態) から 100 % (ツマミを右に回しきった状態) へ調整します。

- エフェクトレベル: 0 % (ツマミを左に回しきった状態)



- エフェクトレベル: 100 % (ツマミを右に回しきった状態)



2 [SHIFT] ボタンを押しながら、エフェクトレベルツマミを操作してエフェクト時間を調整する

エフェクト時間を [1/1] から [1/2] に調整します。

Serato DJ Intro の画面上のエフェクトレベルツマミの位置と本機のエフェクトレベルツマミの位置を、一致させる必要があります。



Serato DJ Intro の画面上のエフェクトレベルツマミの位置と本機のエフェクトレベルツマミの位置が一致すると、エフェクト時間が調整できるようになります。

- エフェクト時間: [1/2]



3 エフェクトレベルツマミを操作して、エフェクトレベルを調整する

エフェクトレベルを 100 % (ツマミを右に回しきった状態) から 50 % (ツマミをセンター位置に設定した状態) へ調整します。

Serato DJ Intro の画面上のエフェクトレベルツマミの位置と本機のエフェクトレベルツマミの位置を、一致させる必要があります。



Serato DJ Intro の画面上のエフェクトレベルツマミの位置と本機のエフェクトレベルツマミの位置が一致すると、エフェクト時間が調整できるようになります。

- エフェクトレベル: 50 % (ツマミをセンター位置に設定した状態)

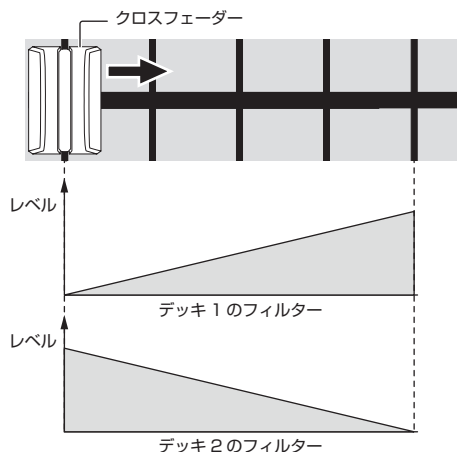


フィルターフェードを使う

フィルターフェードをオンに設定すると、クロスフェーダーの操作をしたときに、両方のデッキにフィルターの効果をかけながら、クロスフェーダーの操作ができます。

フィルター (HPF) の効果を変化させながらミックスするので、両方のデッキのトラックがスムーズにつながり、トラックのジャンルやテンポを気にせず簡単にミックスを楽しめます。

ここでは、クロスフェーダーを左端から右端へ操作し、デッキ 1 のトラックからデッキ 2 のトラックへミックスするときの動作を例に説明します。



- クロスフェーダーを左端から右方向へ操作すると、デッキ 1 のトラックはフィルター (HPF) の効果が、最小の状態から右端へ近づくにつれて、フィルター (HPF) の効果が、最大の状態へ変化します。
- クロスフェーダーを左端から右方向へ操作すると、デッキ 2 のトラックはフィルター (HPF) の効果が、最大の状態から右端へ近づくにつれて、フィルター (HPF) の効果が、最小の状態へ変化します。

1 デッキ 1 とデッキ 2 でトラックを再生する

2 [FILTER FADE] ボタンを押す

ボタンが点滅し、フィルターフェードをオンに設定します。
フィルターフェードをオンに設定しているときは、フィルターツマミの操作は無効です。

3 クロスフェーダーを左端から右端へ、または右端から左端へ動かす

デッキ 1 のトラックからデッキ 2 のトラックへミックスするときは、左端から右端へ動かします。
デッキ 2 のトラックからデッキ 1 のトラックへミックスするときは、右端から左端へ動かします。

4 もう一度、[FILTER FADE] ボタンを押す

ボタンが点灯し、フィルターフェードをオフに設定します。
フィルターフェードをオンに設定しているときに、フィルターツマミを操作したときは、フィルターフェードをオフに設定したときのフィルターツマミ位置が設定されます。

マイクの音声をミックスする

ワイヤレスマイク等の出力レベルの高い機器を接続したとき、マイク音声が入る場合があります。出力レベル切り換えやゲイン調整ができる場合は、本機のマイク端子に入力される信号レベルをなるべく低くなるように調整してください。
詳しくは、お使いの接続機器の取扱説明書をご覧ください。

1 [MIC] 端子にマイクを接続する

2 システムを起動する

➡ 「システムを起動する」(p.11)

3 [MIC LEVEL] ツマミを回す

出力される音声レベルを調整します。
右に回しすぎると大音量で音声が出れますのでご注意ください。

曲を解析する

本機の [LOAD] ボタンを押してデッキに曲をロードすると曲の解析が実行されますが、解析が終了するまで BPM や波形表示に時間がかかる場合があります。

Serato DJ Intro ソフトウェアをオフラインプレーヤーとして使用すると、事前に曲を解析することができます。解析の終了している曲は、デッキに曲をロードしたあとすぐに BPM や波形が表示されるようになります。

Serato DJ Intro でのオフラインプレーヤーや曲の解析方法についての詳細は、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

- 楽曲の数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

ユーティリティーモード

以下の設定を変更することができます。

- チャンネルフェーダースタート設定
- デモモード設定
- ジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔の設定

ユーティリティーモードを起動する

DJアプリケーションを起動したままユーティリティーモードを起動させると、設定する状態が正しく表示されない場合があります。

1 コンピューター上のDJアプリケーションを終了させる

2 USB ケーブルを本体から抜く

本機の電源をオフにします。

- コンピューターに差してある USB ケーブルは、差したままにしてください。

3 左側のデッキのパフォーマンスパッド 1 ボタンとパフォーマンスパッド 4 ボタンの両方を押しながら、USB ケーブルを本体に接続する

ユーティリティーモードが起動します。

4 ユーティリティーモードにしたあとで、設定を変更したい項目についてコントローラーを操作する

変更可能な設定については、以下の説明をご覧ください。

5 本機とコンピューターをつないでいる USB ケーブルを抜いて、設定を保存する

設定を保存するには、本機の電源をオフにする必要があります。

ジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔を調整する

本機はジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔を調整するモードを備えています。

本機から送信される、ジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔が短い場合、お使いのコンピューターの OS やスペックによってはジョグダイヤルが正しく動作しないことがあります。そのような場合は以下の手順に従って MIDI メッセージの送信間隔を調整してください。

- MIDI 送信間隔は短い方の設定から、問題の起きない長さまで上げてください。
- 初期設定は 3 ms です。

ユーティリティーモードを起動して、左側のデッキの [SAMPLER] モードボタンを押す

ボタンを押すたびに、MIDI の送信間隔の設定が変わります。パフォーマンスパッド、[▶/II] ボタン、[CUE (I◀)] ボタン、[SYNC (OFF)] ボタンおよび [SHIFT] ボタンの点灯により現在の設定値がわかります。

3 ms	4 ms	5 ms	6 ms
7 ms	9 ms	11 ms	13 ms

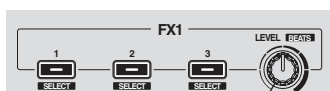
設定を変更する

チャンネルフェーダースタートの設定を変更する

チャンネルフェーダースタート機能の設定を変更できます。

- 初期設定は SYNC 設定なしのチャンネルフェーダースタートです。

ユーティリティーモードを起動して、左側のデッキのエフェクトボタンのいずれかを押す



- エフェクト 1 ボタン点灯: SYNC 設定ありのチャンネルフェーダースタート (チャンネルフェーダースタート開始と同時に SYNC 機能が働きます。)
- エフェクト 2 ボタン点灯: SYNC 設定なしのチャンネルフェーダースタート (チャンネルフェーダースタート開始時に SYNC 機能は働きません。)
- エフェクト 3 ボタン点灯: チャンネルフェーダースタート機能は無効

デモモードを無効にする

本機は通常の使用状態で 10 分間何の操作もないとき、デモモードを実行しますが、このデモモードはオフにすることができます。

- 初期設定ではデモモードはオンです。
- デモモード中は本機のいずれかのツマミやボタンを操作すると、デモモードを解除できます。

ユーティリティーモードを起動して、左側の [VINYL (SLIP)] ボタンを押す

- [VINYL (SLIP)] ボタン点灯: デモモード 有効
- [VINYL (SLIP)] ボタン消灯: デモモード 無効

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目および Pioneer DJ サポートサイトへアクセスして、**[DDJ-SB]** の **[よくある質問]** を確認してください。また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、22 ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源をオフにしてから 1 分後に再度電源をオンにすることで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が入らない。	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。
	接続されているコンピューターの USB ポートからの給電が不足していませんか？	十分な給電ができる USB ポートに接続してください。 DJ プレイに使用しない機器が別の USB ポートに接続されている場合は、それらも抜いて電力を確保してください。 接続先のコンピューターをバッテリーで駆動させずに、AC 電源から電源供給を行ってみてください。
本機が認識されない。	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。
	USB ハブを使っていますか？	USB ハブは使えません。コンピューターと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。
	ドライバソフトウェアは正しく設定されていますか？ (Windows)	ドライバソフトウェアを正しく設定してください。(Mac OS X ではドライバソフトウェアは必要ありません。)(3 ページ)
	Serato DJ Intro ソフトウェアのバージョンは最新になっていますか？	最新のソフトウェアにアップデートしてください。
ライブラリにトラックが表示されません。	音楽ファイルをインポートしていますか？	音楽ファイルをインポートしてください。 インポート方法の詳細については、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
	トラックが入っていない crate または subcrate を選んでいませんか？	トラックが入っている crate または subcrate を選ぶか、crate または subcrate にトラックを追加してください。
ライブラリに iTunes の曲が表示されない	[SETUP] メニューの中の [Show iTunes Library] にチェックが入っていますか？	[Show iTunes Library] にチェックを入れてください。 インポート方法の詳細については、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
	トラックが入っていない crate または subcrate を選んでいませんか？	トラックが入っている crate または subcrate を選ぶか、crate または subcrate にトラックを追加してください。
音が出ない、または音が小さい。	チャンネルフェーダー、クロスフェーダーおよび [MASTER LEVEL] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	チャンネルフェーダー、クロスフェーダーおよび [MASTER LEVEL] ツマミを正しい位置に設定してください。
	接続しているパワーアンプやパワードスピーカーなどは正しく設定されていますか？	パワーアンプやパワードスピーカーなどの外部入力切り換えや音量を正しく設定してください。
	接続ケーブルが正しく接続されていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
音が歪む。	ドライバソフトウェアは正しく設定されていますか？ (Windows)	ドライバソフトウェアを正しく設定してください。(Mac OS X ではドライバソフトウェアは必要ありません。)(3 ページ)
	[MASTER LEVEL] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	接続する機器に合わせて、 [MASTER LEVEL] ツマミを調整してください。
	[MIC] 端子に入力される音声レベルは適切に設定されていますか？	接続する機器に合わせて各端子に入力される音声レベルを適切に設定してください。
DJ ソフトウェアを使っているとき再生中の音声がとぎれる。	ワイヤレスマイク等の出力レベルの高い機器を接続していませんか？	ワイヤレスマイク等の出力レベルの高い機器を接続したとき、マイク音声が入力される信号レベルをなるべく低くするように調整してください。 詳しくは、お使いの接続機器の取扱説明書をご覧ください。
	ASIO ドライバを設定すると音かとぎれる。	ASIO ドライバは Serato DJ Intro を起動する前に設定してください。(5 ページ)
インジケーターが点滅して動作がおかしくなった。	Serato DJ Intro を起動したまま ASIO ドライバを設定していませんか？	ASIO ドライバは Serato DJ Intro を起動する前に設定してください。(5 ページ)
	－	付属の USB ケーブルを一度抜いて 1 分以上たってから再び差し込むことで正常に動作することがあります。 それでも同じ症状が現れるときは、USB ケーブルを抜いてから修理を依頼してください。
[FILTER] ツマミを操作しても、音色が変化しない。	フィルタフェード機能がオンになっていませんか？ フィルタフェード機能がオンになっているときは、 [FILTER] ツマミを操作しても、音色は変わりません。	フィルタフェード機能をオフにしてください。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
Serato DJ Intro の動作が不安定になる。	ソフトウェアのバージョンは最新になっていますか？ Serato DJ Intro 以外のソフトウェアを同時使用していませんか？	Serato DJ Intro の無料アップデートをウェブサイトよりダウンロードできます。最新のバージョンをご利用ください。(4 ページ) コンピューターの負荷を減らすために、他のアプリケーションを終了してください。 それでも不安定な状態が続く場合は、ワイヤレスネットワークなどの無線接続、ウイルス対策ソフト、スクリーン・セーバー、省電力モードなどを無効にしてみてください。
	コンピューターに他の USB 機器を接続していませんか？	他の USB 機器をコンピューターから外してください。 他の USB オーディオデバイスと同時にコンピューターに接続すると、正常に動作および認識されないことがあります。
	USB ハブを使っていませんか？	USB ハブは使えません。コンピューターと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。
	本機が接続されている USB 端子に不具合がある。	お使いのコンピューターに複数の USB 端子がある場合は、別の USB 端子に接続してみてください。
	バッテリー駆動させているノートブック型コンピューターに接続していませんか？	ノートブック型コンピューターにコンセントから電源供給してください。 (ノートブック型コンピューターの設定によっては、バッテリー駆動中に省電力にするため、コンピューター自体のパフォーマンスを自動的に落とす場合があります。)
	USB のバッファサイズが小さい。	USB バッファサイズを上げてみてください。(5 ページ)
BPM が表示されない。 SYNC 機能、オートループ機能が動作しない。	曲が解析されていますか？ オフラインプレーヤーの設定で [Set Auto BPM] にチェックが入っていますか？	曲を解析してください。 [Set Auto BPM] にチェックを入れた状態で再度、曲を解析してください。 曲の解析方法についての詳細は、Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
BPM が正しく表示されていない。	オフラインプレーヤーの設定で BPM 解析範囲は適切に設定されていますか？	BPM 解析範囲を変更してから、再度、曲を解析してください。それでも解決しない場合は、手動で BPM を設定してください。

マニュアルを入手する

各操作説明書は PDF 形式のファイルで作成されている場合があります。PDF 形式のファイルをご覧いただくには、Adobe® Reader® をインストールする必要があります。Adobe Reader をお持ちでないお客様は CD-ROM のメニュー画面のダウンロードリンクからインストールを行ってください。

最新版の取扱説明書をダウンロードする

1 CD-ROM をコンピューターの光学ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。
CD-ROM を挿入しても CD-ROM のメニューが表示されないときは、以下に従って操作してください。

- Windows のとき
[スタート]メニューの [コンピューター (またはマイコンピューター)] から光学ドライブを開き [CD_menu.exe] のアイコンをダブルクリックしてください。
- Mac OS X のとき
Finder で直接 [CD_menu.app] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[DDJ-SB: 取扱説明書をダウンロードする (PDF ファイル)] を選んでから [開始] をクリックする

3 「接続にはインターネット環境が必要です。インターネットに接続しますか？」と表示されるので、[はい] をクリックする

ウェブブラウザが起動し、Pioneer DJ サポートサイトが表示されます。

4 Pioneer DJ サポートサイトで [DDJ-SB] の「取扱説明書」をクリックする

5 ダウンロードページの中から必要な言語をクリックする

取扱説明書のダウンロードが始まります。

Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルをダウンロードする

1 CD-ROM をコンピューターの光学ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。
CD-ROM を挿入しても CD-ROM のメニューが表示されないときは、以下に従って操作してください。

- Windows のとき
[スタート]メニューの [コンピューター (またはマイコンピューター)] から光学ドライブを開き [CD_menu.exe] のアイコンをダブルクリックしてください。
- Mac OS X のとき
Finder で直接 [CD_menu.app] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[Serato DJ Intro: ソフトウェア マニュアルをダウンロードする (PDF ファイル)] を選んでから [開始] をクリックする

3 「接続にはインターネット環境が必要です。インターネットに接続しますか？」と表示されるので、[はい] をクリックする

ウェブブラウザが起動し、Pioneer DJ サポートサイトが表示されます。

- CD-ROM のメニューを終了させるときは、[終了] をクリックしてください。

4 Pioneer DJ サポートサイトで [DDJ-SB] の [ソフトウェア対応情報] をクリックする

5 Serato DJ Intro のダウンロードページへのリンクをクリックする

Serato DJ Intro のダウンロードページが表示されます。

6 「Serato.com」のユーザーアカウントでログインする

登録した E-mail アドレスおよびパスワードを入力し、「Serato.com」にログインします。

7 ダウンロードページの右側にある「More Downloads」の中から「Serato DJ Intro x.x User Manual」をクリックしてください

Serato DJ Intro のソフトウェアマニュアルのダウンロードが始まります。

他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する

本機は、ボタンやツマミなどの操作情報を汎用の MIDI 形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピューターと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピューターで再生している音楽ファイルの音声の本機から出力できます。

Serato DJ Intro ソフトウェア以外の DJ ソフトウェアを操作するコントローラーとして使用するときは、DJ ソフトウェアのオーディオおよび MIDI に関する設定もしてください。

- 詳しくは、お使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

MIDI メッセージについて

本機の MIDI メッセージについては、「MIDI メッセージ一覧」をご覧ください。

- 「MIDI メッセージ一覧」は下記の URL より入手できます。
<http://pioneerdj.com/support/>

ドライバソフトウェアについて (Windows)

本ドライバソフトウェアは、コンピューターからの音声を出力するための専用 ASIO ドライバです。

- Mac OS X をお使いのときは、ドライバソフトウェアをインストールする必要はありません。
- はじめに 21 ページの「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

動作環境

対応 OS

Windows® 8/Windows® 8 Pro	32 ビット版	○
	64 ビット版	○ ¹⁾
Windows® 7 Home Premium/Professional/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○ ¹⁾
Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○ ¹⁾

¹⁾ 64 ビット版 Windows をお使いのときは、ドライバソフトウェアは 32 ビットアプリケーションだけにお使いいただけます。

ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、下記の Pioneer DJ サポートサイトを参照してください。
<http://pioneerdj.com/support/>

インストール手順について

- 操作手順は「インストール手順 (Windows)」を参照してください。

❖ ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）は、お客様とパイオニア株式会社（以下「当社」といいます）との間における、DJ 機器用ソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）の使用に関する事項を定めるものです。

本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をおやめ下さい。

（使用許諾）

本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル・コンピュータ又は携帯端末にインストールして使用することができます。

（制限事項）

お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作

成等を行うことはできず、さらに、逆コンパイル、リバース・エンジニアリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

（著作権等）

本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

（保証及び技術サポートの否認）

本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うこと等も保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

（責任制限）

当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害（利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失・毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません）に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

（輸出規制法令の遵守）

お客様は、アメリカ合衆国の法令及び本ソフトウェアを取得された国の法令が認めている場合を除き、本ソフトウェアを使用または輸出もしくは再輸出することはできません。また、本ソフトウェアを、次のいずれの者に対しても、輸出または再輸出することはできません。

(a) アメリカ合衆国の通商禁止国

(b) アメリカ合衆国財務省の禁止顧客リスト (Specially Designated Nationals List) 上の一切の者、及びアメリカ合衆国商務省の禁止顧客リスト (Denied Person's List or Entity List) 上の一切の者

お客様は、本ソフトウェアを使用することにより、上記 (a) に該当する国に居住しておらず、また、上記 (b) のリストに掲載されていないことを表明および保証するものとします。また、お客様は、本ソフトウェアをアメリカ合衆国の法令にて禁止されるいかなる目的（核兵器、ミサイル、化学兵器、または細菌兵器を含みますが、これに限定されません）にも使用しないことに同意されたものとします。

（準拠法）

本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意（それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません）に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

保証とアフターサービス

本内容は日本国内モデルのみに適用されます。

修理に関するご質問、ご相談

「ご使用前に（重要）/ クイックスタートガイド」の巻末に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書（ご使用前に（重要）/ クイックスタートガイドの裏表紙に記載）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証書に販売店名や購入日の記載がない場合は、本製品のご購入の際に受け取られた、購入日が明記されている購入証明書（レシート、納品書、受注メールなど）が必要となります。保証書とともに大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 19 ページの「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず USB ケーブルを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ・ ご住所
- ・ お名前
- ・ お電話番号
- ・ 製品名：DJ コントローラー
- ・ 型番：DDJ-SB
- ・ お買い上げ日
- ・ 故障または異常の内容
「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（たとえば飲食店等での営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

K041_A3_Ja

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

商標および登録商標について

- ・ Pioneer はパイオニア株式会社の登録商標です。
- ・ Microsoft, Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Mac OS, iTunes、および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ Intel および Intel Core は、米国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- ・ ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- ・ Serato DJ Intro, Scratch Live, ITCH, Serato DJ は、Serato 社の登録商標です。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされており、営利的目的での（収益の発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためにはライセンスされおりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは <http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。

著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- ・ CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- ・ インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

— 本機および付属ソフトウェアの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2013 パイオニア株式会社 禁無断転載

パイオニア株式会社

〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉 1 番 1 号

<DRJ1023-A>